

# 年間授業計画【新様式】

高等学校令和8年度（4学年用）教科

国語 科目 現代文演習

教科：国語

科目：現代文演習

2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：須知 結太郎

使用教科書：「言語文化」（数研出版）

教科 国語

の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
		話・期	書	読							
<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	地域の「ことば」とんかつ		○	○	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。		○	○	○	8	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	「ことば」を吟味する舟を編む		○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○	○	○	8
1 学 期	中間考査						○	○			1
<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩歌を味わう</li> <li>六月</li> <li>サーカス</li> <li>短歌</li> <li>俳句</li> <li>詩の基本</li> <li>短歌の基本</li> <li>俳句の基本</li> </ul>		○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○	○	○	9
						【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語感を磨く</li> <li>側転と三夏</li> <li>文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。</p>	○	○	○	8	
	期末考査							○	○		1
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</li> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ことば」の力</li> <li>葉桜と魔笛・文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品展開を理解し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	9	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</li> <li>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語感を磨く</li> <li>側転と三夏</li> <li>文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。</p>	○	○	○	9	
	中間考査							○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</li> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</li> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ことば」の力/葉桜と魔笛</li> <li>「ことば」の力</li> <li>葉桜と魔笛・文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品展開を理解し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	9	

